

## 緊急現地調査速報 第1報 (2013/11/26)

場所：長野県白馬村  
テーマ：長野県北部地震

東北大学災害科学国際研究所では、2014年11月22日に発生した長野県北部の地震(M6.7)に関して、緊急現地調査を翌23日より実施しています。地震に伴って、長野県北安曇郡白馬村、JR大系線 飯森駅東側約100mの地点にて、地表地震断層が出現していることを新たに確認しました。

この地表地震断層は、県道33号線に沿うように北北東-南南西方向に300m以上にわたって連続しています。断層が浅部で低角化していることから、水田を蛇行するような地表の分布形態を示しています。簡易測量の結果、東側隆起のであり、上下変位量が最大約40cmに達していることが明らかになりました(写真1および2)。

このほかにも、塩島地区、白馬駅北東側の大出地区および堀之内地区北西側でも地表変位が確認されています。また、本調査では三日市場地区の西側においても、短縮変形を示す地盤変状を確認していることから、6km以上にわたり地震断層とそれに伴う変状が地表に連続していることが明らかになってきました。

東北大学災害科学国際研究所緊急調査グループ

遠田晋次・岡田真介・丹羽雄一・石村大輔(災害理学研究分野)

2014/11/26 12:52



写真 1



写真 2

文責：岡田真介(災害理学研究部門)